



とちぎマイスター「機械加工（普通旋盤作業）」の技能の例

汎用工作機械の技能伝承

きじま としはる
木島 利治

栃木市 在住

日立ジョンソンコントロールズ空調（株）栃木空調本部 （代表 TEL 0282-43-1110）

製作技能の経験を生かした製品管理と技能指導

（現在の仕事）

圧縮機製造部門にて、組立、製缶の品質管理を担当している。また事業所内認定職業訓練校において、技能訓練生に普通旋盤作業の指導も行っている。

（得意な分野）

長年携わってきた圧縮機の機械加工職場での経験を生かし、加工時間短縮、不良低減、品質向上を図っている。

若手社員には、普通旋盤技能検定の指導を行い汎用旋盤加工の基礎技術の大切さを教えている。

はじめに汎用工作の基礎を学ぶことが重要

現在の機械加工の現場では、ほとんどの機械が数値制御化されている。しかし機械加工の原点は汎用旋盤、フライス盤にあると思います。これから機械加工に携わって行く若い人には、出来るだけ早い時期に汎用旋盤、フライス盤加工に接する機会を持ってもらい、機械加工の基礎を習得し、技能検定に

も積極的に挑戦することで汎用機械の加工技術を身に付けてほしい。

さらに切削加工、穴加工、研削加工など多様な加工技術習得にも挑戦し、幅広い加工技術を身に付けて、総合的な機械屋として活躍していただきたい。

